

## 平成31年度 学校経営計画及び学校評価

### 1 めざす学校像

<p><b>教育方針</b></p> <p>豊かな情操と気品ある人格を育み、 これからの社会を支える</p> <p>健全な精神を持つ若者を育成する。</p>	<p>夕陽丘教育の4つの柱</p> <div style="border: 1px solid #f08080; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1. 一人ひとりの進路を実現できる学力を身に着ける学校</div> <div style="border: 1px solid #f08080; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">2. 自ら考え、行動できるように自主自律の心を養う学校</div> <div style="border: 1px solid #f08080; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">3. 国際的視野をもち、社会の変化に対応できるグローバル人材を育成する学校</div> <div style="border: 1px solid #f08080; padding: 5px;">4. 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校</div>
<p>「情操」とは 美しいものや優れたものに対して素直に感動できる心。相手の良い所に気づき、相手を敬う事が出来る力。</p>	<p>「気品」とは 落ち着いた振舞い、優しい気持ちで、人と接することのできる精神的な美しさ。</p>

### 2 中期的目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全ての教育活動にグローバル人材の育成、自主・自律の観点を取り入れる。</li> <li>■ 3SK【SEIRI、SEITON、SEISOU、KIKIKANNRI】で学力向上と働き方改革を推進する。</li> </ul>
<p>1. 「進路希望実現」に関する中期的目標</p> <p>(1) 次期学習指導要領を見据えたカリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 総合的な探究の時間「夕陽学」を軸に、各教科・行事等の教育活動をつなぎ、学校における「協働」を実現する。</li> <li>② 指導教諭を中心に、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業を行い、その評価方法について研究する。</li> <li>③ 次期学習指導要領の内容について、高大接続を踏まえ、新たな教育課程を作成する。</li> </ul> <p>(2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ 各学年の生徒に応じた進路の取組を行う。：スケジュールの早期提供、模試の事前・事後指導、学びの履歴書の作成 ：志望校決定率 60%以上、国公立・関西5私大（関関同立近大）200名合格（H30：60%313名）</li> <li>⑤ 3SKで学力向上と働き方改革を推進する。</li> </ul>
<p>2. 「自主・自律」に関する中期的目標</p> <p>(1) 基本的生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥ 学生自治を基本に、学校生活・行事・部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な学生を育てる。 ：自己診断 90%（H30：生徒 89.1%）「部活動に係る活動方針」の実施</li> <li>⑦ 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。 ：校内研修の実施、推進体制の構築、全体計画の作成、自己診断 80%</li> </ul> <p>(2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。</li> <li>⑨ 教育相談・支援体制に基づき、家庭、専門人材、外部機関等と連携し、生徒一人ひとりに応じた教育活動を推進する。</li> <li>⑩ 「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」に基づき、「夕陽丘高校いじめ対策組織」を中心に、学校全体でいじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。</li> <li>⑪ 防犯・防災を含む危機管理体制、3SKを日常化し、安心安全な教育環境を整える。</li> </ul>
<p>3. 「グローバル人材育成」に関する中期的目標</p> <p>(1) YGR（*1）と連携し、海外研修や授業等を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑫ 海外修学旅行、ニューヨーク語学研修、ウィーン音楽研修を継続発展する。</li> <li>⑬ グローバルに使える力として多様性・英語の4技能をバランスよく育成する。 ：英語学力調査のスコア 2021年度：65%、英検合格 2021年度：40名（H30：英語学力調査のスコア 1年 75% 2年 64%、英検2級合格者 85名）</li> </ul> <p>(2) YGRと連携し、国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭ 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、日々の学習活動と関連をもたせ、国際交流の内容を深化する。 ：姉妹校：クラークスタウン北高校（アメリカ・ニューヨーク）、鳳新高級中学（台湾）</li> <li>⑮ SDGsをテーマに、生徒の主体的な取組及び国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。 ：SDGsの取組、国際交流活動</li> </ul>
<p>4. 「国内最高の音楽教育」に関する中期的目標</p> <p>(1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯ 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。</li> <li>⑰ 一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会、音楽科25周年（2020年）事業を確定する。</li> </ul> <p>(2) 生徒等の企画運営による校内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑱ 校内のヴィオラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。</li> </ul> <p>(3) 国内及び海外の大学等と連携し、交流を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲ 大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校と交流を継続する。</li> </ul> <p>※ ⑳上の1.～4.の中期的目標をより効果的に発信していく。：中学生対象の説明会、WEBページ、掲示板、学校通信、マガジン</p>

#### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年10月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>学校生活をより充実したものとするため、生徒・保護者の皆様と教職員に対して、学校教育活動や取組に関するアンケート（「学校教育自己診断」）を10月初旬に実施しました。今年も保護者774名の方からの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>・生徒に対する質問19項目中、肯定的回答率が80%以上を占めるものが18項目と昨年よりも増えています。「友達関係」「行事への取組」「あいさつ」「国際交流」等は今年度も高い数字となっています。「学力診断テスト・模試」に関する項目に関しては、進路目標の迷いや学習習慣の未定着等の課題が見られます。模試等の後に行っている振り返りや進路講演、進路HRにより、進路への意識をいっそう高められるよう努めたいと考えます。</p> <p>・保護者の皆様においても、19項目中14項目で肯定的回答率が80%を超える結果になっています。進路に関する項目に関しては、生徒と同様な課題があるかと考えられます。また、生徒からの情報が家庭に確実に届くよう工夫します。今後も、学校行事やPTA活動への</p>	<p><b>第1回(5月20日)の協議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度の新たな取組において             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科を超えた取組の共有や、外部に委託できるものについては委託する等、働き方改革を意識した無理のない仕組み作りをめざしていく。</li> </ul> </li> <li>○3SKなどユニークな取組、魅力的な取組を             <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報マガジン発行など。広報でやれることを進めていく。私学に負けないものがある。進学実績などアピールできるポイントを広報していく。</li> <li>・道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。道徳教育の重点項目をしぼり、外の刺激、多文化共生を取り入れた道徳教育カリキュラムを作り上げることを検討。</li> </ul> </li> </ul>

参加率の高さを生かし、保護者の皆様との連携をより深く行っていきたいと考えます。

- ・教職員については、「授業の工夫」「人権教育」「進路指導」「部活動」「いじめ対策」に関する項目において肯定的回答率が90%をこえています。
- ・自由記述欄に上がっていました、授業内容に関する件は、授業アンケート等のフィードバックにより、よりよい授業を求め今後も更に努力してまいります。また、施設改善の工事が多くあり不便をかけていますが、順次終了しています。また、今年度末より、体育館の空調設備工事が始まり体育館の使用に不便をかけますが、来年度より快適な環境で活動ができるようになります。また、緊急時の連絡やホームページの更新等の御意見もいただきました。緊急時の連絡は複数の方法でより迅速にできるようお伝えしています。台風時の対応は、原則生徒手帳の記載どおりになります。また、学校からのプリント配付連絡などもクラッシーやメールマガジンで行っていきたいと考えます。

その他いただきましたご意見も今後の教育活動に反映してまいりたいと思います。

## 令和元年度学校教育自己診断 肯定的回答率

	質問項目	元年度	30年度
生徒	学校での友達関係はうまくいっている	96.0	94.3
	学校行事は充実していて楽しい	93.3	90.0
	学校内で、先生や来客の方にあいさつができています	95.1	88.2
	国際感覚を養うような国際交流の機会がある	93.6	89.6
保護者	学校での友達関係はうまくいっている	95.0	92.1
	体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている	95.5	96.7
	部活動は、活発に行われている	92.1	90.7
	学校は、子どもの国際感覚を養うような国際交流行事を実施している	91.5	93.2

## 第2回(11月5日)の協議

○倍率低下に関する分析について

志願者の動向については理解したが、在校生に対し「夕陽丘高校を選んだ理由」を聞くことにより、より中学生の思いに合致した説明会での取組みができるのではないかと。加えて、中学校だけでなく塾など各方面からの意見を参考にしたい方がよい、との意見をいただいた。

➢ 生徒・保護者にアンケート調査を実施する。

➢ 11月、12月には学校説明会を開催し、夕陽丘の魅力を伝えていく。

○学校経営計画進捗状況等について

学校イメージを多面的に知る必要があるのではないか。学校教育自己診断の項目「学校に行くのが楽しい」(89.2%)は100%にしたい。保護者の回収率が8割強であるが、もう少し上がってもいいのではないかと。広報に関しては、十分に尽力していることが伺える。との意見をいただいた。

➢ 大阪府立唯一の音楽科の設置校ということで音楽科に注目が集まるところもある。普

通科の生徒の頑張りもしっかりアピールしていく。

➢ 学校教育自己診断の保護者の回収率をアップするために、配付時にメール等の手段を使い、協力依頼を徹底するよう取り組んでいく。

○授業観察・第1回授業アンケートの結果について

授業アンケートの平均値(3.52)は非常に高く、授業観察の様子からも先生方の授業改善に取り組んでいる姿勢がうかがえる。授業はわかりやすく努力されている。生徒も集中力を持って取り組んでいる。今後更に「主体的対話的な深い学び」となるようにしっかり取り組んでいく。また、授業アンケート項目「この時間のねらい、ポイントを伝えているか」については、満点(4.0)となるべきと考える。との指摘をいただいた。

➢ 授業改善については、各教科で研究し取り組んでいる。

➢ わかりやすく教える・聞かせるだけでなく、生徒に自ら取り組む授業、生徒が主体となって取り組み、対話的で深い学びに結び付ける授業展開を求めていく。

## 第3回(1月28日)の協議

○令和元年度学校経営計画及び学校評価について

- ・主体的対話的な学びについての進捗状況
- ・教員の負担を軽減する取組み(アウトソーシングなど)を実施する必要がある
- ・普通科と音楽科の交流促進は生徒にとって効果が大きいなどのご意見をいただいた。

➢ 主体的対話的な学びについては、公開授業月間を設け、教員相互で共有する中で、各教科・各教員で授業改善が進んでいる。

➢ 同僚性を大切に、これからもALL夕陽で取り組んでいく

➢ 今後も、学校行事や教科の授業(体育等)で、それぞれ刺激を受けることができるよう共に活動していく。

○令和2年度学校経営計画及び学校評価について

- ・昨年度の普通科の志願者数の減少や、今年度の音楽科が定員に満たなかったことを踏まえ、より一層の魅力発信に向け、様々なご意見をいただいた。

➢ 課題分析をしっかりと行うとともに、本校の取組みをより効果的に発信できるよう検討していく。

※学校経営計画の基本的方針について、ご承認いただきました。

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 進路希望実現	(1) 次期学習指導要領を見据えたカリキュラム・マネジメントを確立し、「確かな学力」を育成する。  (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。	①総合的な探究の時間「夕陽学」を軸に、各教科・行事等の教育活動をつなぎ、学校における「協働」を実現する。 ②指導教諭を中心に「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業を行い、その評価方法について研究する。 ③次期学習指導要領の内容について、高大接続を踏まえ、新たな教育課程を作成する。 ④各学年の生徒に応じた進路の取組を行う。：スケジュールの早期提供、模試の事前・事後指導、学びの履歴書の作成 ⑤3SKで学力向上と働き方改革を推進する。	①3年間の総合・教科・行事等の活動とその関連性がわかる一覧表を作成、活用する。 ②全ての教科で問題解決型学習、ルーブリック評価に基づくパフォーマンス課題を実施、授業アンケート平均3.3以上 (H30:3.45) ③関連研修への参加と還元研修実施、新教育課程の素案作成 ④進路講座実施回数 H30 維持、志望校決定率60%以上 (H30:60%)、国公立関西5私大(関関同立近大)200名合格 (H30:313名) ⑤学習状況調査の変容度	①一覧表は完成。掲示して共有。今後の活用に向けて整理中 (△) ②継続中 授業アンケート平均3.5 (○) ③職員会議で各教科の報告を冊子にして情報を共有。新教育課程編成の検討会を実施、新教育課程編成作業中 (○) ④進路講座 H30 同数、志望校決定率66.7%、国公立関西5私大268名 (○) ⑤学習状況 ◎ (第2学年) 22.7% ⇒ 38.5% (○)
2 自主・自律	(1) 基本的生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。  (2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・街づくりに参画する。	⑥学生自治を基本に、学校生活・行事・部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な学生を育てる。 ⑦道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。 ⑧「こころの再生」にかかるあいさつ、学校・地域のクリーンアップ、高齢者施設、病院との交流活動を行う。 ⑨教育相談・支援体制に基づき、家庭、専門人材、外部機関等と連携し、生徒一人ひとりに応じた教育活動を推進する。 ⑩「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」に基づき、「夕陽丘高校いじめ対策組織」を中心に、学校全体でいじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。 ⑪防犯・防災を含む危機管理体制、3SKを日常化し、安心安全な教育環境を整える。	⑥遅刻数減少に向けて好事例等を研究する。リーダー研修実施、自己診断90%以上維持 (H30:89.1%)、「部活動に係る活動方針」の適切な実施 ⑦校内研修の実施、推進体制の構築、全体計画の作成、自己診断80% ⑧あいさつ週間の設定、自己診断80%以上 (H30:88.2%)、活動回数10回以上 (H30:15回) ⑨教職員：自己診断80% (H30:83.7%) ⑩「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」点検 教職員：自己診断90%以上 (H30:83.6%) ⑪実践的な避難訓練の実施、区役所等外部と連携した防災訓練、3SKに係る点検	⑥遅刻数1032(昨年度790) 例年同様3年生が増加。自己診断93.6% (○) ⑦2月に校内研修を実施 自己診断(生徒85.3%、保護者87.4%、教員91.9%) (○) ⑧自己診断(生徒95.1%) 活動回数10回 (○) ⑨自己診断85.7% (○) 学習、生活支援実施。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー実施 (○) ⑩実施中。委員会を開催し、未然防止に努めている。自己診断94% (○) ⑪避難訓練6月、連携防災訓練12月実施済み (○) 11月29日防災セミナー実施 (職員研修) (○)
3 グローバル人材育成	(1) YGR(*1)と連携し、海外研修を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。  (2) YGRと連携し、国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。	⑫海外修学旅行、ニューヨーク語学研修、ウィーン音楽研修を継続発展する。 ⑬グローバルに使える力として多様性・英語の4技能をバランスよく育成する。 ⑭海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、日々の学習活動と関連をもたせ、国際交流の内容を深化する。 ⑮SDGsをテーマに、生徒の主体的な取組及び国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。	⑫アンケートの満足度90%以上 ⑬英語学力調査のスコア(生徒の8割): 65%、(H30:1年75% 2年64%)、英検2級合格者:40名(H30:85名)、講座回数:各学年1回以上、スピーキングテストの実施、コミュニケーション英語の英語利用率:50%(H30:40%) ⑭交流内容、留学生の日本語教室の深化、自己診断85%以上(H30:89.6%) ⑮SDGsに係る取組、国際交流活動年3回(H30:3回)実施、国際に係る生徒の取組人数600人以上(H30:1,000人)	⑫海外修学旅行:94.8% NY語学研修:3月12日からの予定であったが実施できず。(○) ⑬R1(12月):1年73% 2年65% 2級合格者:65名 英語利用率:50% (○) ⑭留学生16名 生徒自己診断93.6% (◎) ⑮鳳新高級中学・AIG・日中植林交流3回実施 1000人取組み参加 (○)
4 国内最高の音楽教育	(1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。  (2) 生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。  (3) 国内及び海外の大学・音楽学校と連携し、交流や短期留学を促進する。	⑯国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。 ⑰一流の指揮者を招聘して、ザ・シンフォニーホールでの定期演奏会、音楽科25周年(2020年)事業を確定する。 ⑱校内のヴィオーラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。 ⑲大阪教育大学、台湾、オーストリア、ハワイの学校等と交流を継続する。	⑯特別レッスン・公開講座の満足度100%(H30:100%)、留学に関する講座の実施 ⑰実施内容、事後アンケートの満足度100%(H30:100%) ⑱校内、近隣ホール・小学校、地域での音楽会の実施回数6回以上(H30:8回) ⑲年間6回以上(H30:8回)	⑯レッスン13回・講座5回、満足度100%。海外からの講師4人。(○) ⑰10月13日実施、満足度100%。25周年実行委員会発足。(○) ⑱学内外での演奏6回実施。(近隣マンション、幼小、医療施設、藤井寺) (○) ⑲6回実施(AIG、大阪教育大、ウィーン・チカマさん、プナホウ、台湾、仏ルーシオン先生) (○)
※広報	広報の在り方を検討する。	⑳1.~4.の中期的目標をより効果的に発信していく。	⑳中学生対象説明会等の本校生徒の参加数200名以上(H30:278名)、掲示板月1回更新、夕陽丘マガジンの発行(隔月1回)	⑳説明会は、本校生徒が運営に関わる形で3回実施。本校生徒はのべ315名参加。夕陽丘マガジンは6号発行した (◎)

\* 1 YGR…Yuhigaoka Global Revolution グローバル市民の育成を期して行う学校全体の取組及び委員会